

特別シンポジウム「科学技術の未来に向けたダイバーシティ推進」 全体趣旨説明

Outline of Special Symposium on

“Promotion of Diversity for Promising Science and Technology”

応用物理学会男女共同参画委員会¹, 産業技術総合研究所², 日本電信電話(株)³

○増田 淳^{1,2}, 河西 奈保子^{1,3}

Gender Equality Committee, JSAP¹, AIST², NTT³, °Atsushi Masuda^{1,2}, Nahoko Kasai^{1,3}

E-mail: atsushi-masuda@aist.go.jp

2001年7月に発足した応用物理学会男女共同参画委員会は、様々な変遷を経ながらも15年以上の活動実績を有し、応用物理学会のみならず科学技術を通じた社会全般の男女共同参画に一定の役割を果たしてきた¹⁾。この間、男女共同参画をめぐる社会の意識も変化するとともに、男女共同参画のみならず、様々な多様性を積極的に受け入れ、多様な人材の能力を最大限に発揮することが、社会全般の持続的発展に必要な不可欠との認識が醸成されつつある。2016年度の男女共同参画委員会では、男女共同参画のみならず、広くダイバーシティ推進の観点から、多くの応用物理学会会員に関わる諸課題について議論してきた。議論の内容は、ワークライフバランス、任期制や評価制度、女子学生の進路選択等、多岐に亘り、限られた委員会の時間では十分な議論を尽くしたとは言えないが、問題意識の共有という点では意義のあるものであった。

これら委員会での議論も踏まえ、2017年春季学術講演会における男女共同参画委員会企画特別シンポジウムでは、将来的な科学技術の発展に資することを目的に、男女のみならず、文理、職種、国籍といった幅広い観点からダイバーシティ推進について講演頂くとともに、参加者と議論したいと考える。午前中は日本語の講演で、文理選択、教育・研究職と事務職といった観点から、多くの応用物理学会会員に日常的に関係する話題を提供頂く。特に三番目の講演では、応用物理学会の学術講演会史上初めて事務局職員が登壇者となり、事務局の観点から会員に向けたメッセージを発信する予定である。昼休みには男女共同参画委員会の主要行事の一つである NEWMAP (NEtwork for WomeN and Men in Applied Physics、旧女子会) 懇親会を開催する。女性会員はもとより、男性会員も含めたネットワーク形成の場として活用頂ければ幸いである。午後前半は英語の講演であり、日英の男女共同参画ならびにダイバーシティ推進の第一人者から、2017年5月の日本での Gender Summit 10 開催も踏まえ、日英のジェンダー研究の現状分析や将来展望が語られる。午後後半は、男女共同参画委員会での1年間の議論も思量し、パネルディスカッションを行うとともに、会場からも広く意見を募りたい。また、本シンポジウムの最後には、男女共同参画ならびにダイバーシティの一層の推進に向けた提言を纏めたい。本シンポジウムを通じて、男女共同参画やダイバーシティに関して、参加者各位が考えを深めて頂くきっかけになれば、企画者として望外の喜びである。

1) 為近 恵美：応用物理 **86** (2017) 64.